

令和4年3月1日発行

令和4年

3

March

No.574



広報

たらま

TARAMA VILLAGE PUBLICITY PAPERS



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟しています。

もうすぐ春

2月撮影 村立図書館前



令和3年度 農産品評会・青空市を開催しました



らっきょう、ニラ、カボチャ、大根、レタス、果実等
多くの農産品と加工品が展示。

令和3年度農産品評会が2月14日、多良間村コミュニティ施設で開催された。農産品評会は、農家の方々が生産した農作物を展示比較することにより、技術の改善と品質向上、地域内消費を図ることを目的に開催しており、今年には加工品を含む51品目、308点が出品された。品目ごとに品質を審査した結果、38品目の1〜3等の77人が決定した。

審査評価で宮古農林水産



【たまねぎ】

- 一等 池間 幸男
- 二等 本村 トヨ
- 三等 翁長 メリアン

振興センター農業改良普及課の湧川普及員は「今年は、冬の干ばつ傾向や雲天の影響から農作物の栽培に苦慮するような天候条件のなかでも、多様、多数の品目が出品されたことは、農家の方々の日頃の栽培意欲の現れであり、適宜管理の賜物だと思います。今回出品数が多かつたにんじく、たまねぎを中心に高収益作物として品評会を機により一層の生産振興が図られることを期待する。」と話した。

新任保護司委嘱辞令伝達式

2月14日、多良間村役場、コミュニティ施設において新任保護司辞令伝達式と新任保護司研修会が行われた。新任の本村和也さんが委嘱状を受け取り決意を新たにしました。

に頑張っていくものと期待しています。保護司の皆さんを先頭に更正保護の活動を頑張ってください。」と激励した。保護司は、犯罪や非行をした人達の立ち直りの援助や地域の犯罪、非行の予防を図る活動をしています。

辞令伝達式で那覇保護観察所の岡田所長は「多良間村では、平成22年11月委嘱の天久隆子保護司、平成26年11月委嘱の大城隆夫保護司に続き3名が保護司となり、沖縄県では576名、全国で4万6千名が保護司として活躍しています。更正保護行政へのご理解ご協力をお願いします。」と挨拶を述べた。



辞令伝達式 新任保護司 本村和也さん（左）
那覇保護観察所 岡田所長（右）

入学・就職・転勤等による引越しで、住所を異動される方は、
窓口での「**正確な住所の届出**」が必要です！

○住民票の住所の異動届（転出届・転入届・転居届など）は、
国民健康保険及び国民年金の資格の確認や、
選挙人名簿への登録などにつながる大切な手続きです。

○身分証明書となる「マイナンバーカード」の「住所」等は、
最新のものにする必要があります。



（正当な理由がなく住民票の異動の届出をしない場合、
5万円以下の過料に処されることがあります。）



◆住民票の異動届（転出届、転入届、転居届等）の手続き方法

◎他の市区町村に転出・転入する場合

引越前の
市区町村 [転出前に]
転出届を提出して
転出証明書を受け取る

引越先の
市区町村 [転入した日から14日以内に]
転出証明書を添えて
転入届を提出

◎同一の市区町村内で転居する場合

お住まいの
市区町村 [転居した日から14日以内に]
転居届を提出

○詳しくは、お住まいの市区町村の窓口へお問い合わせください。

令和4年初セリ市が開催

1月19日、JAおきなわ多良間家畜市場において今年初の令和4年初セリ市が行われた。

セリ市では、生後6ヶ月から10ヶ月の子牛118頭が出品され、子牛平均価格は712,697円(税込み)となった。1番牛は1,625,800円(税込み)の高値取引となり生産農家にとって喜ばしい結果となった。

主催者代表の沖縄県農業協同組合 普天間朝重代表理事長は「今後もコロナ感染拡大防止を図りながら、活発な家畜セリ市を開催できるように生産農家、行政と連携を強化し肉用牛振興を推進していく。」と沖縄県農業協同組合経営管理委員 長濱国博様より代読で挨拶が述べられた。

伊良皆光夫村長より「ここ数年、肉用牛の価格も低調になり大変厳しい状況が続いている中、農家の皆様の日頃の飼養管理、改良努力に励まれていますことに敬意を表する。」と述べ「全国的に、肉用牛の頭数は後継者不足等もあり減少の一途を辿っておりますが、沖縄と北海道だけ増頭の可能性があるという中、今後も飼養管理、技術向上、改良努力等により購買者が好む子牛生産に励んでいただきたい。」と激励の言葉を述べた。



令和4年初セリ市 1番牛に高値がついた

水道担当 清村

水道のはなし

第2回 R4年3月号

今回は、水源(井戸)と水質についてのおはなしです。本村水道では、4つの水源から原水を取水しています。塩川No.1(フシャトウガー)、仲筋No.1(ナンダトウガー)、仲筋No.2、仲筋No.3の4つで、1日に760m³の水量を確保しています。

では、水質はどうでしょうか。本村では毎月、原水と浄水(飲料水)の水質検査を外部へ委託して実施しています。水納島は年間2回程度実施しています。費用は年間約5百万円です。

水質で以前から懸念されていたのが、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素の濃度でした。窒素肥料の使用量が多いことなどが原因ともされています。しかし、現在は、全ての水源が基準値以下の数値となっています。エコファーマーへの取組などにより、水質が保たれていると思っています。



美しい村を探す



大分県 湯布院町 塚原



北欧のようななだらかな丘陵

塚原は由布岳の北側標高600メートルに位置し、開放感あふれる景色が美しい丘陵地帯が広がる高原です。大分県の畜産発祥の地であり牧歌的な乳牛を自家飼料で育てる風景や、全国2位の強酸性の泉質が皮膚病に良いとして知られる塚原温泉が有名です。

人口が323名の塚原は大変長閑な集落で信号機もコンビニもありませんが、北欧のような丘陵地帯の眺めと甘酒祭りなど昔からの行事継承する伝統性が合わさり、観光地としての注目度も年々高まっております。従来の別荘やホテル以外にも自然と向きあうグランピング体験宿も人気があり、塚原の自然と共存する姿勢を今後もPRしていく所存です。

鹿児島県 喜界町

「蝶の飛び交う隆起サンゴ礁の島」

人口…6,747人（令和4年1月1日現在）

喜界町は奄美大島の東側、東経130度線上に浮かぶ周囲約50kmの隆起サンゴ礁からなる島です。サンゴのかけらなどが多く混じる土壌は海由来のミネラルが豊富で、美味しい作物が育ちます。

皆様に「喜界島の食」をご紹介しますため、ふるさと納税担当者厳選の返礼品をご紹介します。

①黒糖焼酎一升瓶2本セット

（朝日・しまつちゆ伝蔵）

喜界島が誇る2つの酒造蔵のセットです。

②喜界島産島ザラメ

③喜界島産活車エビ（12月～3月限定）

※前記の期間以外は冷凍物により対応しております。

喜界島の伝統ある黒糖焼酎やミネラル豊富な島ザラメ、喜界島の海の幸など喜界島の味をぜひご堪能ください。



問い合わせ先……………
喜界町役場企画観光課
ふるさと納税係
☎0997-65-3682

福岡県 東峰村

人口…1,988人（令和3年11月末現在）
総面積…51.97km²

東峰村は、福岡県中央部の東に位置し大分県日田市と接しています。豊かな清流と緑を有し、陶磁器では日本で最初に伝統的工芸品に指定された「小石原焼」^{こいしはらやき}、黒田藩の御用窯であった「高取焼」^{たかとりやき}など伝統文化も相まってどこか懐かしさを感じるような美しい村です。

【東峰村応援団募集中】

東峰村の自然、歴史、伝統、文化等を愛し、その魅力を広く宣伝するとともに、地域との交流・連携を通じて本村の振興を図るため、「東峰村応援団」(ファンクラブ)を設置しました。応援団員となつていただいた方には、ご登録いただいたメールアドレスに定期的な村の魅力等の情報発信を行っています。



問い合わせ先……………
東峰村役場企画政策課
☎0946-72-2311
ホームページアドレス：<http://vill.toho-info.com/>



令和4年3月

ひとりごと

村長の たうけー むぬゆむ



春は出会いと別れの季節。3月・4月は、卒業、転勤、異動、退職、入学、入社など、人それぞれ環境が大なり小なり変わったりする。喜び、悲しみ、期待、寂しさ…いろいろな気持ちを持って、新しい季節を迎える。環境の変化は人々にストレスを与えたりもする。新しい環境、人間関係、仕事など今までとは違った新しい状況が過度なエネルギーを使う。新しい状況は、ストレスがかかりやすい一方で、新しい自分や人との出会いがあり、成長のチャンスでもある。心配しすぎることなく、新しいドアを開きたいものだ。未来

には夢と希望があるはず。

人生の節目に使われることが多い言葉「門出」、春を迎える卒業の季節には、とくに耳にする機会が増える。旅立ち、新生活の始まりで、新たな道へ進むことへの前向きな気持ちが込められている。4月は、門出の時である。「かどで」は「首途」とも書くことを知らなかった。「首途」は「出発」の意味。「途」には、はら「清められた」「みち」の意味があるようだ。今年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する源義経ゆかりの「首途八幡宮」は「かどではちまんぐう」と読む。源義経が牛

若丸と呼ばれていた頃、平氏軍から難を逃れるために、奥州の藤原秀衡の元へ旅立つとき、ここ「八幡宮」へ立ち寄り道中の安全祈願をしたことから、「かどではちまんぐう」と呼ばれるようになった。義経の奥州への道中祈願の由来により、現在では多くの人が旅先の無事を祈る神社になった。

門出・旅立つ人を励ます言葉に宮沢賢治の「生徒諸君に寄せる」という詩がある。詩は自らの教員時代を振り返り、自分が追求する理想的な教育が実践できず、幸せだった教員時代に思いを馳せる。逆に、統制的国粋主義へと変わっていく、自由な空気が失われていく時代に、怒りや失望がにじみ出る。一方、自由に物が言える時代の到来を望み、社会は自分たちで変えていくんだという強いメッセージを贈る。天文学、生物学、海洋学における「新しい時代」を切り拓いてきた開拓者であ

る、コペルニクス、ダーウインらを例に、それぞれの専門分野における開拓者になれ、自分が信じた道を進め、と教え子への期待が込められる。

人生において、チャンスを手早く活かされるか、チャンスを手く活かしきれないか、大きな分かれ道である。長い人生の道の中では、自分自身が最善の注意をしても、突如起こるもらい事故や新型コロナウイルスのような、予想もしないような出来事も起こる。万が一起きてしまった場合でも、あらゆる苦難を乗り越えられるような、強い精神力を日頃から培っておきたいものだ。

高校進学への門出となる、諸君が明るく、逞しく、楽しみながら、有意義な高校生活を送るために旅立つてほしい。コロナ後の新しい社会を担うのは間違いなく諸君だ。勇気を持って踏みだそう。誇りを胸に新風を吹かせ。そして、チャンスをつかもう。



多良間駐在所からの連絡

●多良間駐在所の移転について

令和4年2月22日から多良間村字塩川吉川里129番地へと多良間駐在所が移転します。旧多良間駐在所は昭和56年に設置され、今年で41年目となり新しい多良間駐在所へと移転になりました。これまでの多良間駐在所は袋小路の場所であるため出入りが難しく、観光客等からわかりにくかったのですが、新しい多良間駐在所は交差点角に設置されているため、来所しやすく目にもつきやすい場所となっています。村民の皆様にはこれまで以上に親しみやすい駐在所として目指していく所存でありますので今後ともよろしくお願ひ致します。

●災害時における避難について

先日、多良間島を含めた各地域において津波注意報が発令され、村民が各避難指定箇所へと避難していましたが、幸い大きな混乱はありませんでした。

※村内では「八重山遠見台」「浄水場」「コミュニティー施設」「すまむぬたらま屋上」となっています。

災害はいつ、どこで発生するかわからないため日頃から防災グッズなどを準備しておくことが重要です。

村内で大規模な災害が発生した場合、悪天候等であれば村外からの応援部隊は上陸することができず、村民だけで対応しなければなりません。

被害を最小限に防ぐためにも多良間村役場・消防団、駐在所が中心となり、様々な情報共有していき避難している村民に安心を与えられるよう、より一層強固な体制を確立していきたいと思ひます。

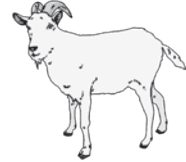
避難されている間、窮屈な思ひをされますが、村民一人一人が協力し合っていくようお願ひします。

●ヤギの飼ひ方について

放し飼ひしているヤギが農作物や牧草を食べ散らかして畑の主が大変困っているという話があがっています。

特に製糖期間中であるサウキビを食べ荒らしている箇所も見受けられるのでヤギは、放し飼ひせず、しっかり囲いやロープ等で繋いでおくなど管理していただくようお願ひします。

※ヤギの責任は飼ひ主にあります!!



気象防災フォーラム宮古島2022を開催しました

宮古島地方気象台では、多良間村ほか関係機関とともに、防災意識の高揚と防災知識の普及を図ることを目的に「気象防災フォーラム宮古島2022」を1月22日にオンライン形式で開催した。多良間村からは、村長をはじめ複数の村民が参加した。

同フォーラムでは、気象庁気象研究所研究官 荒木健太郎氏とNHK沖縄放送局気象予報士 結野亜希氏をお招きし、自然災害に関する備えや気象について講演が行われた後、講演者のお二人と宮古島地方気象台 林台長による気象防災に関するトークセッションが行われた。

防災気象情報の活用について荒木氏は「情報を上手く活用するには、一人一人が自分ごととして災害について考えよう対応していくかが重要」と話した。また、受動的に情報を受け取るだけでなく能動的に防災に関わっていくアプローチの一つとして「身近にある雲に興味を持ち、気象を楽しみながら気象現象を理解する」といざという時に突発的な災害に備えたり対応できたりする」と伝えた。

結野氏は、沖縄の四季の変化や気象を写真やイラストで分かりやすく説明。また、沖縄戦の取材内容から「戦時下、沖縄気象台職員が命がけで観測を続けたこと、当時の気象情報は、重要な軍事機密とされていた」など戦時も気象が重要な関わりをもっていたことを語った。

まとめとして、荒木氏は「雲との出会いを楽しみながら日常的

に空を見上げるようになると気象の変化に気づきやすいし、空を楽しむために気象情報を利用すると防災の活用にもつながっていく。」と述べた。

また、結野氏は「災害へ備えるためには、テレビ・ラジオ等の情報を早めにキャッチし、気象の変化を読み取った上で、いざという時に自主的に動けるよう具体的な行動のあり方を確認して欲しい。」とご自身の経験から学んだことを伝えた。最後に林台長より「避難行動をとる上で、家族構成も重要な判断になってくると思う。このことも踏まえ気象台、自治体から出す情報を利用して、個人の事情を考慮に入れて自主的に身の回りの方々と一緒に避難行動をとっていただきたい。」と述べた。

私たちに身近で時には災害をもたらす天気について、興味をもち、防災・減災をめざすきっかけとなるイベントであった。



ご寄付ありがとうございます。

●平安名 讓治 様 (神奈川県)

●株式会社 丸秀 様 (宮古島市)

世帯数と人口

(令和4年1月末現在)

総世帯数	525 (3)		
総人口	1,094 (2)		
男	596	女	498
区別	人口	世帯数	
土原	61 (0)	32 (0)	
天川	86 (0)	46 (0)	
津川	97 (0)	44 (0)	
宮良	72 (-1)	31 (0)	
嶺間	150 (2)	66 (0)	
大道	187 (3)	95 (3)	
大木	261 (0)	119 (0)	
吉川	176 (-2)	89 (0)	
水納	4 (0)	3 (0)	
出生	2	死亡	3
転入	3	転出	0

()内は前月比

緊急ダイヤル

火災・救急ワンクッションコール	119番
警察官派出所	(79-2010) 110番
急病人／多良間診療所	79-2101
歯科診療所／医師	79-2162
停電／沖縄電力多良間電業所	79-2147
断水／役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病／役場産業経済課	79-2503
ガス専用／JA多良間	090-6859-2355

1月 救急車・ヘリ搬送件数

救急車出動…2件 ヘリ搬送…1件

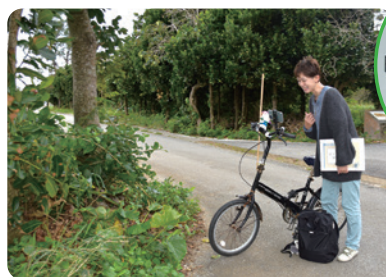
※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

沖縄・多良間島の最後の楽園を現地ガイドが楽しくご案内！琉球風水集落サイクリングガイド！

パソコンやスマートフォンを使って自宅や好きな場所から旅行気分が味わえるオンラインツアーが2月1日から開始し、現地ガイドとして地域おこし協力隊登彰子さんがたらぴんと一緒に島の風景や文化を案内。三択クイズやたらまふつ講座もあり楽しくガイドを行いました。



出発前に地域振興拠点施設前で挨拶と自己紹介。パネルを使い島の文化や特徴を説明し出発～



道端に生えているビヴヴリガッサ発見!



多良間の豊年祭「八月踊り」が演じられるピイトウマタウガムを紹介。



外部から疫病や魔を祓いのけるスマフシャリワーとスマフシャリナを説明。

編集後記

表紙の写真は、例年桜の開花が見られる、村立図書館の桜です。コロナ禍でお花見が気軽に出来なくても、最近ではYouTubeでお花見気分が味わえるようです。旅行に行けなくてもネットで旅行気分が味わえたりと、デジタル化が進むと色々な可能性が広がりますね。

今月号も広報誌へご協力頂いた皆様、ありがとうございました。
(兼本)



最終地点は多良間小学校前。お疲れ様でした。

離島に興味がある方、美しい集落や歴史、自然に興味がある方、なかなか旅行に行けない方でも多良間島ののどかな風景をオンラインで楽しめます。



お申し込みはこちらから